

○ 本年度学校教育の努力点

(1) 本校の努力点

「自分の命を守り抜く児童の育成」(3年次)

—協働的に探究することを通して—

(2) 主題設定の理由

本校では、「自分の命を守り抜く児童の育成」をテーマに、昨年度は、探究的な学びを通して教科教育で学んだことと関連させながら防災教育を行ってきた。また、年間を通してリスクコミュニケーションの考え方を導入したひなんレンジャーシート(OPPA)で自分自身の行動を振り返りながら学び続ける工夫を行った。これらにより、児童一人一人が目標をもちながら、主体的に学ぶ姿が見られるようになってきている。

そこで今年度は、昨年度の実践を基にしながら、自然に仲間と協力して学び合うことのできるゆるやかな協働性を大切にしていくとともに、学級や学年にとらわれず、多様な人と協働的に学習や活動に取り組むことができるようにし、より充実した深い学びを目指したい。



(3) 研究の進め方

ア 研究授業について

- ・ 学年で協力して防災に関する授業の略案を2つ作成し、実践を公開する。
- ・ 研究授業は、2学期末までに計画的に行う。また、取り組む教科・領域は自由とする。
- ・ 略案は授業日の3日前までに、全職員に配布する。推進委員長へは、保管用も含めて2部提出する。
- ・ 同じ学年の研究授業と事後検討は必ず参観をし、他学年の研究授業は、低・中・高学年部会の授業を学年で1人ずつは必ず参観し、学年で共有する。

イ 事前・事後検討会について

- ・ 手だてや授業の工夫について学年で事前検討を行い、他クラスは、事前に授業を行う。(指導案を使った授業を各学級年2回ずつ行う。)
- ・ 授業実践後には、努力点に関する内容について、学年と参観者で事後検討を行い、今後の実践に生かす(思考促進ツールを活用)。事後検討会には、授業を参観できた・できなかったに関わらず参加してよい。また、事後検討の内容は部会で共有する。

ウ 保護者や地域への啓発

- ・ 学校だよりでの情宣
- ・ 学年だより・ホームページ・懇談会での情宣(各実践後)
- ・ 学校開放での学校努力点授業参観(9月)

(4) 推進組織

校長・教頭・主幹・推進委員会・学年部会で構成する。

低学年部会	中学年部会	高学年部会
1、2年生 つくし	3、4年生 養護教諭	5、6年生 横尾先生、校務主任

(5) 推進計画

月 日	会 合 名	内 容
4月11日	努力点推進委員会	推進計画の提案と検討
4月15日	努力点全体会	努力点について提案、年間の実践計画(学年)
5月 9日		実践計画提出締め切り
5月15日	努力点学年部会	前期実践の計画
8月31日		中間報告書提出締め切り
9月29日	努力点学習会	「白沢学びのコンパス」作成会① 後期実践の見直しと計画 中間報告
1月26日	努力点全体会	第4回避難訓練振り返り
1月30日		最終報告書提出締め切り
2月16日	最終報告会	実践の成果と課題について
3月 5日	努力点推進委員会	来年度に向けての検討
3月16日	努力点推進委員会	来年度に向けての提案と検討
3月23日	努力点全体会	「白沢学びのコンパス」作成会②